

令和8年度学校評価表(評価項目・評価の観点)

学校番号

75

長野県梓川高等学校

学校教育目標

- (1)「高き理想」を持ち、その実現に向け、自ら考え行動できる人材の育成。
- (2)「心ゆたかに」生きて行く人間力あふれた人材の育成。
- (3)地域の学び・経験を通して自信を高め、地域を支え、地域をリードする有為な人材の育成。

重点目標

- (1)いじめや人権侵害のない安全安心な学校環境を、職員と生徒が中心となり協働しながらつくりあげていく。
- (2)生徒一人一人が考え、めざす進路選択が実現できるよう、ライフプランを意識した進路・学習指導を生徒・保護者と共に計画・実行に向けとくんでいく。
- (3)自分の考えや取組を、周囲にむけ適切に表現できるよう、学習活動・生徒会活動などの諸活動を通じ経験を積めるよう支援する。

*「評価項目」の() 数字は、今年度重点目標の項目番号

評点 5: 十分 4: ほぼ十分 3: どちらともいえない
2: やや不十分 1: 不十分

領域	対象	R08 評価項目	R08 評価の観点	本年度の成果と課題	評点	具体的な改善策・向上策
教育活動	学習指導	(2) 基礎基本の定着と個の興味関心に応じた指導	生徒の学力実態に対応し、指導・評価の工夫や教材作成に取り組んでいるか。朝学習を通して基礎学力の定着が図られたか。			
		授業評価による授業改善	体験学習、授業アンケート、定期考査等を通じ、生徒の理解、関心の度合いを図りながら授業の計画・改善に努めているか。			
	進路指導	(2) 3年間を見通した計画的な進路指導	学年や個に応じた進路指導計画の策定し、幅広く進路情報を収集・整理し生徒に提供することで、生徒が積極的な進路実現を目指して活動しているか。			
		進路希望の実現と職業理解の促進	働くことの意味と責任を自覚し、社会の一員として生きる力を育成するために、1学年からの意識付けや企業勉強会、ワーキングセミナー等の実施ができたか。			
	生徒指導	(1) 基本的な生活習慣の確立	全職員の協力で生徒指導に当たり、集団生活のマナーやルール遵守の定着を図っているか。			
		生徒相談体制の充実	生徒の状況を把握し、関係者間の連絡を密にして適切な支援体制を整えているか。			
生徒会	(3) 自主的、主体的に行動する生徒の育成	生徒の主体的な活動を支援し、主体的・対話的な学びによる自己肯定感を育てることができたか。安全に配慮し、活動することができたか。				
学校運営	組織運営	(1) 学校評価の充実	学校評価を通して、教育活動の向上・改善を図っているか。			
		(3) 情報提供	本校の教育活動に関する情報や資料を、積極的・迅速に公開・提供をしているか。			
	地域連携	(2) 地域と連携した教育	地域と連携した学習や体験活動を通して、生徒の学習意欲を引き出しているか。			
	校内研修	(1) 授業・学習指導法の改善	・生成AI・ICTの活用や新たな学びについて研修を行い、教科指導で活用することができたか。 ・公開授業・研究授業の振り返りが指導改善につながったか。			
生徒の理解		多様な生徒の特性や悩みを理解し、学校の実態に沿った研修となっているか。				